

資料提供：平成 27 年 1 月 22 日  
担当 島根県立大学 企画調整室  
森本  
TEL 0855-24-2201

## 島根県立大学北東アジア地域研究センターとタタールスタン科学 アカデミー歴史研究所との間における学術協力・交流に関する協 議書の調印について

本学所属のタタール語資料が縁で、タタールスタン共和国との学術交流を行っていた  
ところではあります。

昨年 6 月、タタールスタン科学アカデミー歴史研究所訪問団（団長 ギバトティノ  
フ・マラト タタールスタン科学アカデミー歴史研究所長（当時）ほか 3 名）が来学  
した際、島根県立大学北東アジア地域研究センターとの間の研究機関相互の学術交流に  
ついて申し入れがありました。

このたび、タタールスタン科学アカデミー歴史研究所 ラファエル・シブガトヴィッ  
チ・ハキモフ所長の来県に合わせ、協議書の調印交換をすることになりましたのでお知  
らせします。

なお、タタールスタン科学アカデミー歴史研究所と、日本の研究機関との学術交流協  
定を締結するのは、本学北東アジア地域研究センターが初めてです。

詳細については、別紙のとおりです。

### 記

- |          |  |
|----------|--|
| 1 協定締結日時 | 平成 27 年 1 月 23 日（金） 17 時から   |
| 2 調印場所   | 出雲空港有料待合室 1  |
| 3 協定調印者  | 島根県立大学北東アジア地域研究センター<br>李 曉東 センター長<br>タタールスタン科学アカデミー歴史研究所<br>ラファエル・シブガトヴィッチ・ハキモフ 所長 |

## タタールスタン科学アカデミー歴史研究所について

<http://www.hist.antat.ru/> より抜粋

○タタールスタン共和国科学アカデミー歴史研究所は、旧言語文学歴史学研究所の歴史学部門、民族学部門、考古学部門、社会思想史部門、イスラム学部門を統合し、1996年6月14日に創設された。タタールスタン史およびタタール人に関わる分野の学術研究の促進、専門性の高いエリート人材の育成を目的としている。

○国際的な学術交流も盛んであり、以下の研究機関と学術交流協定を結んでいる。

ニューオーリンズ大学（米国） ウズベキスタン共和国科学アカデミー東洋学研究所  
ウズベキスタン史研究所 ロシア科学アカデミー東洋学研究所  
沿ヴォルガ地域歴史エコロジー文化協会（ロシア・サマーラ市）  
カザフスタン共和国科学アカデミー哲学研究所。

また、大学院教育も行っており、歴史学（ロシア史、考古学、民族学）、哲学（哲学史、宗教哲学）、教育学（教育方法論）を専門的に学ぶことができる。

○現在研究所ににいる104人のスタッフのうち、70人が研究者である。そのうち、11人が博士、44人の博士候補（日本の大学院博士後期課程修了に相当）がいる。その他に72人の大学院生が学んでいる。近年は、タタール人の歴史的文化遺産の研究、タタールスタンの諸民族の研究が盛んである。学際的研究、国内外の代表的な学術機関との緊密な協力に特に力を入れており、多くの成果が生まれている。古代チュルク文明の歴史から現代社会まで幅広く研究する視野の広さが、当研究所の強みである。

## 協議書 抜粋

### 島根県立大学北東アジア地域研究センターと タタールスタン科学アカデミー歴史研究所との間における 学術協力・交流に関する協議書

島根県立大学北東アジア地域研究センターとタタールスタン科学アカデミー歴史研究所は、双方の学術交流を一層強化するため、平等互恵の原則に従い、友好的な協議を経て、学術交流を展開することと協力・交流関係を築くことに合意したので、ここに本協議を締結する。

1. 研究者の交流
2. 研究者を相互に派遣し、相手側の機関で研究する等活動
3. 関連の学術集会の開催・共催
4. 公刊した学術資料、研究機関の刊行物および学術通信の交換
5. その他の交流活動